

田島祇園祭 お党屋お千度参り 七行器行列

2019年度当番党屋は、本町上側(もつまうわがわ)。党本は、田出宇賀神社が猪股裕一さん、熊野神社が猪股耕太郎さんです。1月13日はお千度参り。入り口の手水舎の冷たい水で手と口をきよめながら、神殿と手水やを何度も往復しました。およそ1時間後、恒例の大杯まわしが始まりました。最後は更に大きな杯で豪快に飲み干しました。



祭のメイン行事、七行器行列
行列にはおよそ35人の花嫁姿の未婚の女性が参加し、塩サナなど七つの器に入れた捧げものを運び、神殿に捧げました。



オリンピックを盛り上げようコンサート TOKYO2020参画プログラムに認証

若き音楽家を育てる会では来年のTOKYO2020オリンピックを盛り上げようと、11月24日、スポーツ選手と共演したコンサートを開催しました。コンサートは公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の参画プログラムに応募、認証されました。

およそ30人の子どもと大人がオリンピック応援ソングの「栄光の架橋」2部合唱に挑戦。2020応援ソングの「パブリカ」を全員でダンス。田島ちびっこレスリングクラブ選手は冬のフィギュアスケート曲で有名になった「誰も寝てはならぬ」にあわせブリッジやバック転を披露。また、聖火ランナーや選手役でパフォーマンスを披露しました。

南会津町はレスリングが縁でアルメニア共和国とTOKYO2020のホストタウンに登録されました。今後の交流にも期待!



田島ちびっこレスリングクラブ選手



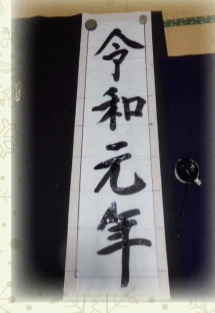
1月の予定

- 1月2日 12:00 厄払いみかんまき
- 1月5日 10:00 南会津町消防団出初式
- 1月6日 10:00 新年町民交歓会
- 1月8日 19:00 たじまCATV新年第1回放送
- 1月12日 15:50 御党屋お千度参り出発 中町上側
- 1月13日 午後 田島スキークラブスキー教室
対象：田島地域小学生児童

新元号「令和」はじまる

2019年5月1日から、新元号令和が始まりました。町内では、臨時の酒場を開いたり、令和の文字を書く習字会が開かれたりと新元号での試みが見られました。街中には祝いの日の丸や、まちなか楽座の窓には鮮やかな令和の文字も登場しました。

役場前では、5月1日に「みんなで令和を書こう!」と習字会が行われました。CATVの告知やフェイスブックなどでイベントを知った方や近所の子供達が集まりました。習字会には、日頃から書道に親しんでいる黒沢さん(中荒井)が道具持参で協力しました。皆川さん(根小屋)は孫さんと参加。2019年1月から東北書道会会長に就任した星翠光氏も駆けつけ「令和」を書き上げました。



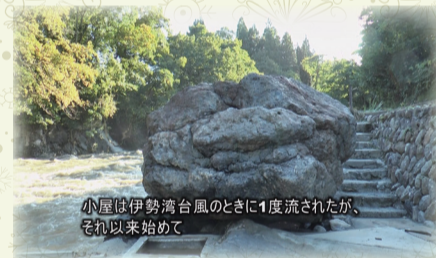
台風19号 露天風呂、 駒止湿原アクセス道路流される

福島県内では阿武隈川が氾濫し浸水すると共に、多くの犠牲者が出る等、甚大な被害が出てしまいました。

南会津地方では、新そば祭などの行事が中止されました。11日夜中から雨となり、風も強まり本格的な雨となりました。南会津町では15か所以上の国道や県道に土砂が流出。消防団は山の近くの地区や堤防に土のうを積み、土砂の流出に備えました。12日夜までに町内4地域では176世帯340人が避難しました。田島地域では駒止湿原への針生側アクセス道路が再び流されてしまいました。館岩では湯の花の石湯や木賊の岩風呂の小屋が流されましたが、12月中旬、二つの露天風呂は2か月ぶりに復旧。



岩風呂



石湯



復旧した、岩風呂、石湯 写真：観光協会



ふくしま駅伝

11月17日、第31回 市町村対抗県縦断駅伝競走大会、ふくしま駅伝が開催されました。選手らは、白河市から福島市の県庁前までの16区間、94.8キロで、たすきを繋ぎました。

市の部の優勝は福島市で14年ぶりの総合優勝。南会津町では若いメンバー中心のベストメンバーで出場し、総合35位、町の部で15位と健闘しました。土橋主将は「一人ひとりがベストを尽くした。これまでつないできた襷を次の世代につなぎたい」と話していました。



16区 ナンバーカード27 南会津町

たじまケーブルテレビビジョンだより

2019年
12月28日号
NO2